

【生活の約束】

1. はきものはそろえて 入れます。



2. ロッカーや机の中は整頓して入れます。



うえ じかんわり 上から時間割の
じゆん きょうかしよ 順に教科書と
ノートを入れます。



がっこう す かた <学校での過ごし方>

1. 登校してから朝学習・朝読書まで

- ①あいさつをして教室に入ります。
- ②学習用具やカバン・ジャンパー等を整理します。
- ③提出物を出します。
- ④忘れ物がないかを確認します。
- ⑤記名章を付けます。
- ⑥トイレ、水飲みを済ませます。
- ⑦自分の席に着き、8時15分まで、朝学習や読書などをします。

3. 自分から進んで、あいさつをします。

- ①相手を見て
- ②えがおで
- ③自分から



4. 足の裏をつけ、姿勢よく座ります。

- ①おなかと机、背中和背もたれの間をあけて
- ②背筋を伸ばして
- ③足の裏を床に付けて姿勢良く座ります。



2. 朝学習・朝読書

【朝学習】 (トライタイム)

- ①8時05分から課題に取り組みます。
- ②静かに課題に取り組みます。
- ③課題が終わったら、読書などに取り組みます。

【朝読書】

- ①8時05分までに本を選んでおきます。
- ②8時05分から8時15分まで静かに読書を行います。

【学習の約束】

1. 澄川の子「学習ルール」

- ①授業の初めと終わりはきちんとあいさつしよう。
- ②名前を呼ばれたら「はい」と返事をしよう。
- ③手はまっすぐあげよう。
- ④発表するときは「～です。」
「～だと思おう。」と最後まで言おう。
- ⑤姿勢良く目と耳で話を聞こう。



2. 著読の仕方

- ①本を立てて、両手で持とう。
- ②しっかりと口を動かして、声を出そう。
- ③句読点「、」「。」を意識して読もう。

3. 聞くときの目標 <全教室掲示>

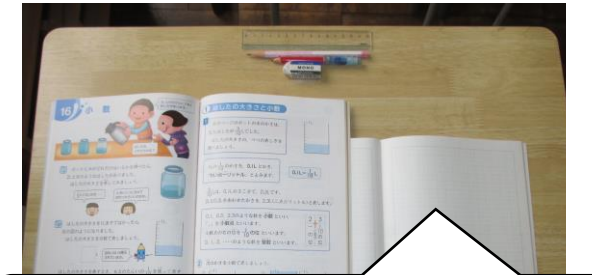
め みみ こころ き <目と耳と心で聞こう>

- (低学年)
- ・だいじなことをおとさずに聞こう。
 - ・あいてをきちんと見て聞こう。
- (中学年)
- ・話の中心に気を付けて聞こう。
 - ・質問や感想をもちながら聞こう。
- (高学年)
- ・話し手が何を言いたいのか考えながら聞こう。
 - ・自分の意見と比べながら聞こう。



4. 机上の整理

机の上には必要なものだけを置きます。



5. 話すときの目標 <全教室掲示>

あいて つた はな <相手に伝わるように話そう>

- (低学年)
- ・じゆんじょよく話そう。
 - ・ていねいなことばで話そう。
 - ・声の大きさや、はやさに気をつけて話そう。
 - ・はっきりと話そう。
- (中学年)
- ・理由をつけて話そう。
 - ・てきせつな言葉づかいで話そう。
 - ・相手を見て話そう。
 - ・言葉の強弱、間の取り方に注意して話そう。
- (高学年)
- ・話したいことが明確に伝わるように話そう。
 - ・場に合った言葉づかいで話そう。

4. 給食

①準備中

- ・手洗い、トイレ等を済ませ、席について静かに待ちます。

②食事中

- ・嫌いなものでも、できるだけ一口は食べてみるようにします。

③後片付け

- ・皿や器は、食べ物が残らないように、できるだけきれいにします。
- ・終了時刻まで教室で過ごします。



澄川スタンダード ～確かな学力の定着に向けた取組～

1. 読書指導

①朝読書

- 毎週火・木曜日の8時05分から8時15分まで、全校一斉（担任も一緒）に実施

②読み聞かせ

- 月一回、図書ボランティアによる読み聞かせの実施

③図書を活用した授業

- 国語の教科書で学んだことを生かして、様々な図書を読む時間を設定している。
- 調べ学習では、関連資料や百科事典を中心に、必要な資料を引用しながら考えをまとめる学習を行っている。

④興味・関心を高める取組（学校司書や図書ボランティアとの連携）

- 学習や時事と関連した作品コーナーや図書コーナーの設置など



2. 補充的学習

①朝学習（トライタイム）

【学年】全学年

【時間】毎週月・金曜日 8時05分～8時15分

【内容】

- 各学年、学級に応じた課題に取り組む。
- 課題が終わったら、読書などに取り組む。

②算数学習サポート

【学年】3～6年生（希望児童）

【日時】

3・4年生

第1・3木曜日 14時40分～15時

5・6年生

第2・4木曜日 14時40分～15時

【場所】算数学習室

【内容】算数のスキル・プリント、宿題

③夏季・冬季学習サポート

【学年】3年生以上

【時期】夏・冬休みの間の2日間

【教科】国語、算数、理科、社会など

【内容】自主課題、または学年課題による繰り返し学習

3. 家庭学習

【目的】

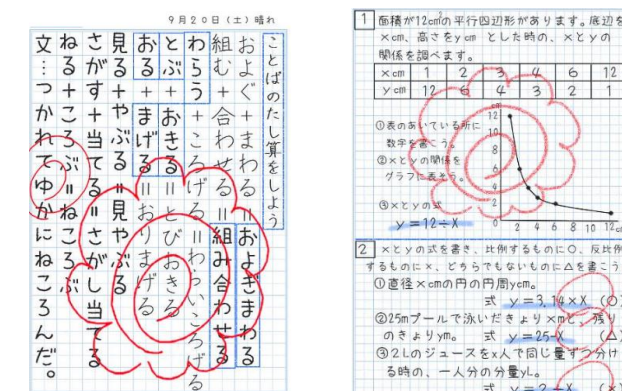
- 学習の習慣化
- 学習したことの定着・習熟
- 自分で学ぼうとする意欲の育成

【目標】

家庭学習（宿題＋自主学習）の目標時間を（学年×10分＋10分）と設定し、各学年85%以上の児童が達成することを目指しています。

【取組内容】

- 「家庭学習の手引き」配付
- 家庭学習の仕方について指導



※実態調査を実施し、家庭学習状況の把握、改善に努めます。

澄川スタンダード ～「わかる→できる」授業を目指した取組～

1. 学習展開

「主体的・対話的・深い学び」を意識した学習過程の工夫

【学習過程】

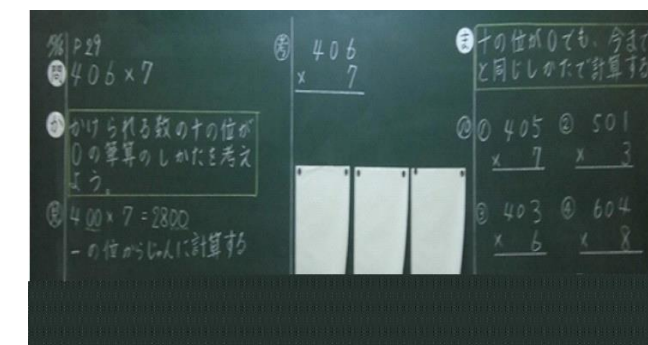
- 「つかむ」 ・問題把握、課題把握
- 「見通す」 ・課題解決の方法やツールを見通す
・観点（ねらい）を明確にした見通し
- 「追求する」 ・自力解決、協働による解決
・観点（視点）を明確にした交流
- 「まとめる」 ・課題に正対したまとめの工夫
・観点を明確にした振り返り
- 「練習」 ・毎時間取り組む

2. 板書

「主体的・対話的・深い学び」を意識した板書の工夫

- （問）本時の問題を確認する。
・（課）問題から課題を捉える。
- （見）課題解決（見通し）の方法・ツールを考える。
- （交）課題を解決し、観点を明確にして交流する。
- （ま）自分たちの言葉でまとめる。
・（練）適用（練習）問題に取り組む。
- （ふ）観点を明確にしたふりかえりを行う。

※見通しや交流は、話し合いの場面として展開するものなので、必ず板書するわけではありません。

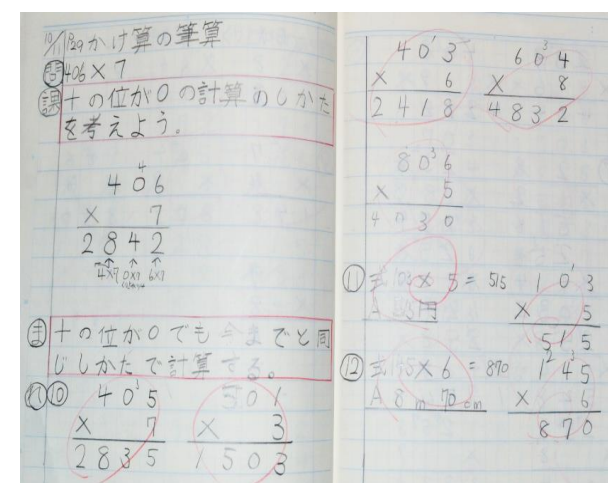


3. ノート指導

見やすく、わかりやすいノート作りをすることで、既習事項の振り返りや家庭学習等でも役立てられるようにする。

【共通取組事項】

- 1単位時間見開き2ページを基本とする。
- ノート左1マス分に縦線を引き、日付、ページ、学習過程等を書く欄とする。
- 課題、まとめは赤線で囲み、その他は黒線で囲む。
- 文字を囲んだり、筆算をしたりする際の線は、定規を用いる。
- 空いたスペースは練習スペースとして使用する。



4. ICTの活用

書画カメラやタブレット等を活用して、視覚的効果を高めています。

書画カメラのポイント

- 拡大して映す
- 実物を映す
- 演示して映す
- 限定して映す
- 意見や考えを映す

- 子どもの興味・関心を高めることができます。
- 学習のポイントや留意点を確認することができます。

○タブレットPCの活用

- 2020年度全面実施の学習指導要領に対応し、ICTを導入した授業づくりの工夫。
- プログラミング的思考を涵養するための教材として、レゴWe do2.0を活用する。